

感染と予防

prevention of Infection

No.04

大人も子どもも 麻疹(はしか)に注意!

麻疹は、「はしか」とも呼ばれ、一般的には子供がかかりやすい病気として知られていますが、最近では大人の感染も多く、関西国際空港での集団感染事例など、大人での集団感染もしばしば発生しており、社会的にも関心が高まっています。今回はさまざまな重篤な合併症を引き起こすため、注意しなければならない感染症の一つである、麻疹の基礎知識についてお伝えいたします。

株式会社健康予防政策機構 代表・医師 岩崎 恵美子



麻疹とは?

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染力はきわめて強く、症状は、高熱、発疹が特徴です。麻疹で最も注意しなければならない点は、さまざまな重篤な合併症を引き起こすことです。特に乳幼児が麻疹にかかった場合は、合併症で死亡する例も少なくありません。合併症の中には深刻な後遺症を残すものもあり、合併症を避けるために、厚生労働省では、**1歳になったらすぐに麻疹ワクチンを受けることを勧めています。**

現在、日本はWHOから麻疹排除国として指定されていますが、近隣の国々では、まだまだ日常的に発生しています。ワクチンを接種していない人がそれらの国へ出かけた場合に、現地で感染し、帰国後に国内で感染を広げるケースが見られています。**いろいろな地域から、旅行者が日本にやって来る現代社会では、それらの人を通して、感染症が持ち込まれる可能性は増えています。**



疫学

麻疹は世界中で流行を繰り返していました。しかし、麻疹ワクチンが普及した1980年代頃から、麻疹に感染して死亡する人も減りました。日本では先進国のなかでも、麻疹ワクチンの普及が遅れていたため、1990年に入っても流行は見られていましたが、2008年から時限措置でMRワクチン(麻疹・風疹混合ワクチン)接種が実施された結果、ワクチン接種率が向上し、麻疹の流行は著しく減少しました。しかしながら2014年にはフィリピンなどのアジア諸国からの輸入例(流行国からの感染者の渡航)で報告数は増加し、2016年には、関西国際空港を利用した入国者を起点とした輸入例などが見られました。

症状

麻疹ウイルスに感染後、10日から12日の潜伏期間を経て、発熱、咳などを伴い発症します。38度前後の発熱が2~4日間続き、倦怠感、咳・鼻水などの上気道の炎症症状、結膜炎症状が続きます。乳幼児では下痢・腹痛などの消化器症状を示す事例もあります。この段階で特徴となる「コップリック斑」(口腔内の頬の裏側に白色の小さな斑点)が現れます。その後、再び発熱するとともに鮮紅色の発疹が体表全体に現れ、発疹・発熱や上気道の症状、結膜炎はひどくなりますが、これらの状態が3~4日続いた後解熱し、症状は軽快していきます。

合併症

全体の約30%が合併症を引き起こすと言われています。

最も多い合併症は肺炎ですが、比較的頻度の高い合併症としては中耳炎などがあります。中耳炎を起こすと難聴になることもあります。また、頻度は高くないものの脳炎を合併することもあります。ほかに懸念される合併症としては、心筋炎、クループ症候群(喉頭の炎症により、犬の吠えるような咳や、声のかすれ、吸気性喘鳴、呼吸困難などの症状を示す)等や、麻疹にかかった数年後に発生する亜急性硬化性脳症などの中枢神経疾患があります。



■ 感染経路

感染経路は、飛沫、接触、空気感染です。口の中に潰瘍ができ、口の粘膜や唾液の中にウイルスが含まれるため、飛沫により感染します。また、その飛沫を触った手を介した接触感染による場合もあります。さらに、感染力が非常に強く、感染者と同じ部屋に長時間いると感染することもあり、空気感染の可能性もあります。他者へ感染させる恐れは、発疹が出る1日前から、発疹出現後4～5日位までです。麻疹は、学校保健安全法により、学校感染症 第二種※に指定され、出席停止期間は解熱した後3日を経過するまでとされています。

※第二種…空気感染又は飛沫まつ感染するもので、児童生徒等の罹患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症



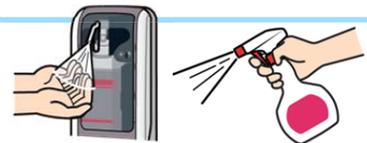
■ 麻しんの予防方法

麻しんの感染経路はインフルエンザの感染経路と似ており、飛沫、接触感染対策が大切です。手洗いが有効です。麻疹ウイルスはエンベロープを持つウイルスのため、消毒薬は比較的効きやすく、手指消毒や手が頻繁に触れる箇所の環境清浄などでは、アルコール製剤が使いやすく、効果的です。

感染対策の基本
は手洗い



エンベロープを持つウイルスに
アルコール製剤は有効



しかし、麻しんは、手洗いやマスク着用のみでは予防することができず、**何よりもかからないためには、ワクチン接種**しかありません。現在日本では、麻疹と風疹の混合ワクチン(MRワクチン)が定期接種に導入され、第1期は1歳時、第2期は小学校入学直前の1年間としており、「MRワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」「小学校入学準備に2回目のMRワクチンを!」というキャンペーンを行っています。1回のワクチンだけでは、私たちの体の中で、麻しんに対する十分な抗体が作られません。必ず2回接種をしてください。

ワクチンは
2回接種!

1歳時



小学校入学
直前の1年間



今の日本は、グローバル化した社会にあります。関西国際空港の集団感染の事例のように、麻しんが流行している国々から感染者が渡航してくる可能性もあります。まだワクチンを1回しか受けていない方も多くいます。そういう方にはもう一度、麻しんのワクチンを受けていただきたいと思います。

女医さんは綺麗な方が多いと感じたことはありませんか?我らえみこ先生もとても綺麗で若々しく、忙しい中いつもハツラツとして、しかも食欲旺盛なんですよ。年齢を感じさせない秘訣はやはり健康! 良質の睡眠と、3度の食事、そして手洗い・うがい。女性も男性も、美しくたくましく、元気に働き、元気に遊ぶ。ワークライフバランスは健康あってこそです。

編集チーム
のつぶやき

感染症や食中毒対策に! 女子に好評!

幅広いウイルスと細菌に効く☆
効果の高い「酸性アルコール消毒剤」です。



速乾性手指消毒剤
ウィル・ステラVH
(指定医薬部外品)

手荒れしにくいのが
good♡

ご質問・ご感想はこちらまでどうぞ ✉ kansen-yobo@saraya.com 感染と予防web 🔍 pro.saraya.com/kansen-yobo

SARAYA
http://pro.saraya.com/

サラヤ株式会社
東京サラヤ株式会社

東京サラヤ株式会社 公衆衛生部内「感染と予防」編集部
〒140-0002 東京都品川区東品川11-25-8 TEL:03-5461-8163
Copyright© 2016 Saraya Co.,Ltd. All Rights Reserved. 本資料の無断転載を禁じます。